

令和8年度 三崎中学校 学校教育目標と経営方針

1 学校教育目標 『心豊かでたくましく 仲間と共に 未来を拓く生徒の育成』

◎校訓 『夢・自立・共生』

夢 夢を育む… 自らの理想を求め、挑戦し、未来を切り拓こう

自立 自分を創る…自ら学び、深く考え、積極的に行動し、自分の命を輝かそう

共生 共に生きる…認め合い、支え合い、高め合い、絆を深めよう

2. 令和8年度学校経営の基本方針

～笑顔が溢れる元気な学校、風通しのよい学校にするために～

- (1) 命や人権の重みを最優先する。
- (2) 生徒の成長をど真ん中に据えた教育活動を行う。
- (3) 学校に関わるすべての人が、互いの多様性を認め合い、持ち味を活かし合えるようにする。
- (4) 教育活動全般をとおり、生徒に「確かな学力」「豊かな社会性」を育む。
- (5) 地域・保護者とともにある「開かれた学校づくり」を行う。
- (6) 業務改善を促進し、効果的な教育活動および教職員のワークライフバランスを実現する。

3. 学校経営の具体的方針

(1) 安全・安心な学習環境と開かれた学校づくり

① 人権尊重の精神がみなぎる環境・関係づくり

「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」人権尊重の精神を基盤に、生徒が安心して自分らしく生活できる居心地のよい学校づくりを推進する。なお、いじめ・暴力・暴言については「絶対に許さない」姿勢で外部機関とも連携した指導・対応を行う。

② 一人ひとりに寄り添った支援と指導

教職員による深い生徒理解と確かな信頼関係のもと、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援・指導のさらなる充実を図る。

③ 支援教育、インクルーシブ教育の充実

専門職や外部諸機関との連携を含んだ支援体制を構築し、一人ひとりの特性に応じた教育活動を推進するとともに、長期欠席生徒への適切な指導・対応を充実させる。

④ 家庭、地域と共にある学校づくり

情報発信や学校公開のさらなる充実をとおり教育方針への理解と信頼を深め、地域・保護者と一体となって生徒の社会貢献や郷土愛を育む「地域と共にある学校づくり」を推進する。

⑤ 専門職、関係諸機関との連携

専門職（SC、SSW）や外部機関（市行政、警察、児相）と緊密に連携し、多角的な支援体制をさらに強化することで生徒の抱える課題の解決を図る。

(2) 確かな学力の育成

① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

校内研修、授業研究等を通して「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図るとともに、粘り強く学習に取り組む「自立（自律）的な学習者」の育成をめざす。

② デジタル学習基盤の効果的な利活用

1人1台端末等のICT機器を効果的に活用して個別最適な学びと協働的な学びを一体的に促進するとともに、デジタル教材を活用した「授業と家庭学習の連動」を図る。

③ 校内研究、校内研修の充実（指導力向上）

研修をとおり教職員の指導力を向上させ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学

びに向かう力、人間性」をバランスよく育む授業づくりを学校全体で推進する。

④ 言語能力の向上（言語活動の充実）

「各教科等における言語活動」をよりいっそう充実させることで、思考力、判断力、表現力の基盤となる言語能力を向上させ、教科を越えた汎用的な資質・能力を育む。

⑤ 9年間の学びを見通した実効性のある連携

校区内小学校との交流の質を向上させ、学び方の指導や家庭学習について義務教育9年間を見通した実効性の高い連携の在り方を模索する。

(3) 豊かな社会性の涵養

① 自律的、積極的な生徒指導

自ら考え判断し、責任ある行動がとれる自律的な主体性を育むとともに、その基盤となる基本的な生活習慣の定着を家庭と連携して重点的に推進する。

② 温かさや厳しさをもった支援と指導

「だめなことはだめ」としっかりと教える「厳しさ」と、子どもの気持ちを十分に受けとめる「温かさ」の両面を併せもった支援と指導に努める。

③ 自己選択、自己決定、自己責任の原則

生徒自らが人生を形作る自己選択、自己決定、自己責任の機会をとおして、自己確立・自己実現に向けた教育を展開する。

④ (学年・学級・学習) 集団の人間関係づくり

互いに認め合い、支え合い、高め合う集団づくりを基盤としながら、授業規律や集団生活の秩序を自ら守り、一体感と達成感を分かち合える自治的な組織を育成する。

⑤ 群れあう体験、我慢する体験、愛される体験

多様な他者と折り合いをつける「群れあう体験」、困難や規律に向き合う「我慢する体験」、温かさや厳しさで包まれる「愛される体験」を積み重ね、しなやかで強い心と豊かな人間性を育む。

(4) 自らの人生を舵取りする力の育成

① 教育課程柔軟化サキドリ研究の推進

教育課程柔軟化サキドリ研究をとおして適正かつ柔軟な教育課程の編成を図り、多様な個に応じた魅力ある教育活動をより充実させる。

② 自己調整能力、自己管理能力の向上

生活・学習記録の活用を通じ、生徒自らが生活や学びを客観的に分析・調整することで、自己管理能力および自己調整能力の伸長を図る。

③ 自治活動の推進（学級活動、生徒会活動、学校行事）

生徒の自主的・主体的な自治活動をとおして課題解決に取組み、成功体験や達成感を味わえるように支援していく。

④ 自尊感情を高める教育活動の充実

一人ひとりが自己認識を深め、自己肯定感を土台にした自己有用感や自己効力感をもてる環境づくりを推進する。

⑤ 果敢な挑戦、失敗が許される風土づくり

果敢な挑戦や失敗が許される学校風土づくりに努め、一人ひとりが主役となって自らの出番と役割をすすんで見つけ挑戦する中で自分ならではの持ち味を見つけ出せるようにする。

